

2.2 地域脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

① 低燃費建設機械導入による競争率の向上と騒音低減

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社エンジン (三井住友ファイナンス&リース株式会社)
	業種	建設
事業所	所在地	福島県
	総延床面積	-
補助金額	補助金額	約92.3万円
	補助率	3% (総リース料に対する)
主な導入設備	従前設備	従来型建設機械 (1台)
	導入設備	低燃費型建設機械 (1台)
事業期間	稼働日	2021年7月
区分		更新
特長		低燃費型建設機械の導入により、環境配慮型設備を有しているという点で、工事発注者へのPR材料となり競争力が向上した。また、騒音の低減にも繋がり、作業環境及び周辺環境への影響が低減された。

システム図

実施前

従来型建設機械



実施後

低燃費型建設機械



写真

低燃費型建設機械



2.2 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

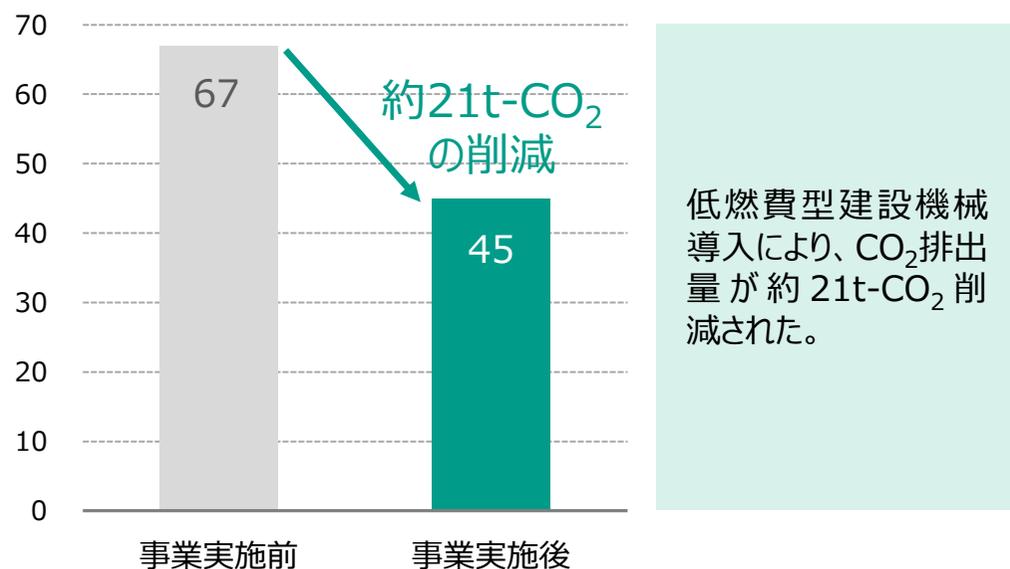
① 低燃費建設機械導入による競争率の向上と騒音低減

事業の効果

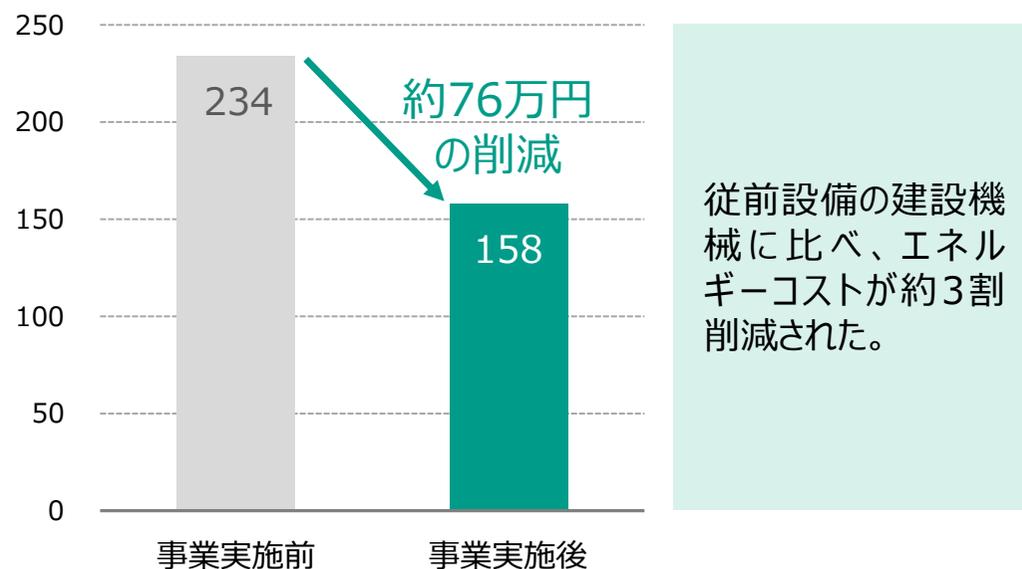
エネルギーコスト削減額		約76万円／年
投資回収年数	補助あり	約40年
	補助なし	約41年

CO ₂ 削減量	約21t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	7,172円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、A重油単価：90,800円／kL（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

① 低燃費建設機械導入による競争率の向上と騒音低減

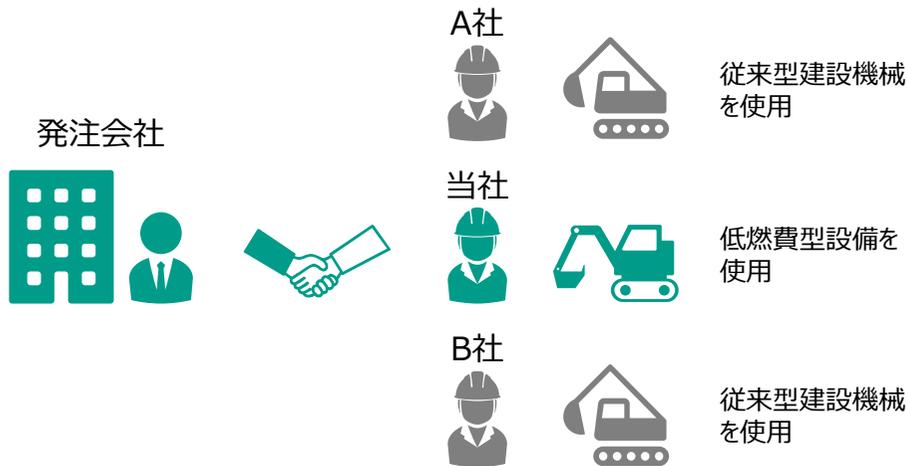
事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「低燃費建設機械への更新」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- 環境に配慮した低燃費型建設機械を導入したことで、工事受注において他社との差別化を図るPR材料としてアピールすることが可能となり、競争力の向上に繋がった。
- 当機械へ更新したことで、従来型建設機械と比べて、機械運転時の稼働音が抑えられ、作業環境及び周辺環境への影響が軽減した。

環境配慮型の設備による競争力の向上

実施後 低燃費型建設機械の導入は他社との差別化を図るPR材料となった



環境を配慮した事業としてアピールが可能となり、**競争力が向上した。**

稼働音の軽減

実施前 運転時の稼働音が大きかった



実施後 運転時の稼働音が軽減した

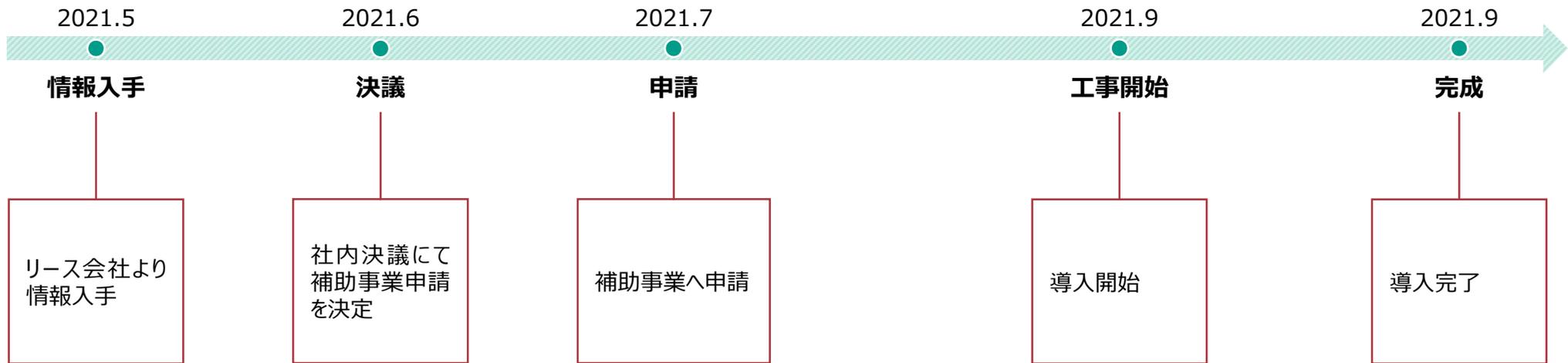


従来型建設設備に比べて、**騒音が軽減した。**

2.2 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

① 低燃費建設機械導入による競争率の向上と騒音低減

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



遠藤 仁
代表取締役

- ・ハイブリッド機種にしたことで、静穏性が増し、労働環境が改善されました。また、近年の燃料高でエネルギーコストが上がっている中、ハイブリッド機種を導入したことで燃費低減に寄与しています。
- ・工事において、より環境に配慮した重機が注目されており、今回導入した重機が新たな工事受託などに役立てばよいと考えています。